



# #に育つ射和っ子

学校だより 特別号  
発行 松阪市立射和小学校  
令和8年3月3日  
児童数 156人

## 学校評価アンケート結果

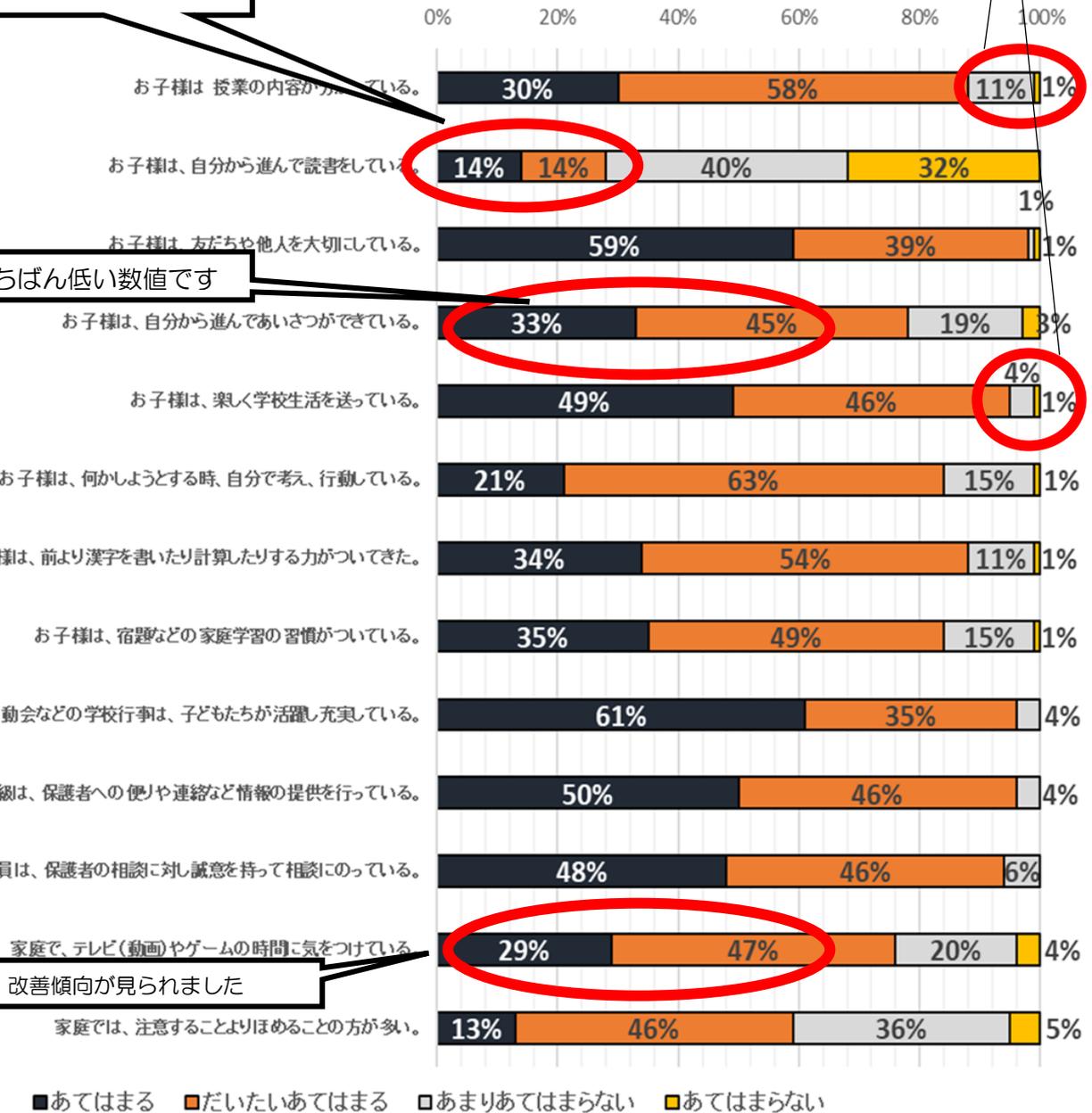
1月に実施しました、学校評価アンケートの結果がまとまりましたので報告させていただきます。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。あわせてお子様に実施しましたアンケート結果も掲載させていただきます。この結果につきましては、2月20日（金）に開催されたいざわCS協議会（学校運営協議会）にて評価をいただきました。今回の学校評価を、次年度の教育につなげていきたいと考えています。

より安心・安全な学校づくりをめざす必要があります

### 2025年度 保護者アンケート結果(回答率85.9%)

引き続き取組が必要です

ここ5年でいちばん低い数値です



■あてはまる ■だいたいあてはまる □あまりあてはまらない ■あてはまらない

改善傾向が見られました

【参考】保護者アンケート結果の推移(R3~R7) 肯定的な回答の割合: %

	質 問	R3	R4	R5	R6	R7
1	お子様は 授業の内容が分かっている。	91	92	93	91	88
2	お子様は、自分から進んで読書をしている。	51	42	30	39	28
3	お子様は、友だちや他人を大切にしている。	97	98	100	98	98
4	お子様は、自分から進んであいさつができています。	86	87	83	87	78
5	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	95	98	97	96	95
6	お子様は、何かしようとする時、自分で考え、行動している。	82	89	82	87	84
7	お子様は、前より漢字を書いたり計算したりする力がついてきた。	94	90	91	86	87
8	お子様は、宿題などの家庭学習の習慣がついている。	90	87	87	87	84
9	運動会などの学校行事は、子どもたちが活躍し充実している。	95	99	99	96	96
10	学校や学級は、保護者への便りや連絡など情報の提供を行っている。	95	96	91	98	96
11	職員は、保護者の相談に対し誠意を持って相談にのっている。	95	93	91	92	94
12	家庭で、テレビ(動画)やゲームの時間に気を付けている。	76	68	70	64	76
13	家庭では、注意することよりほめることの方が多い。	68	59	55	60	59

2025年度 児童アンケート結果

	質 問	肯定的な回答の割合 (%)
1	学校生活が楽しい。	95
2	学校で勉強していることがよく分かる。	92
3	図書室や教室の本、家にある本をすすんで読む。	62
4	学校や近所で知っている人に会ったら、すすんであいさつしている。	91
5	友だちと仲よくしている。	99
6	学校生活のきまりや約束を守って生活している。	98
7	学校がきれいになるように掃除している。	97
8	運動会や文化祭、集会等が楽しみである。	89
9	決めたテレビ(動画)やゲームの時間を守っている。	72
10	おうちでは注意されることよりほめられることが多い。	81

●肯定的な回答(あてはまる、だいたいあてはまる)の割合が比較的高い項目

- ・友だちを大切にしている 児童99% 保護者98%
- ・楽しく学校生活を送っている 児童95% 保護者95%

昨年度に引き続き、高い評価となっています。一方で、よくない評価も見られます。子どもたちが、安心して学校生活を送ることができるよう、引き続き取組を進めてまいります。

●肯定的な回答の割合が比較的低い項目

- ・注意するよりほめることが多い 児童81% 保護者59%

昨年度よりも保護者の評価が低くなっていますが、子どもの評価は昨年度より6%高くなっています。保護者の評価以上に子どもたちはほめてもらっていると感じているようです。引き続き、いろいろな機会や場面でぜひほめてあげてほしいと思います。

- ・テレビ・ゲーム等の時間を守っている 児童72% 保護者76%

昨年度と比べると、児童、保護者ともに評価は高くなっています。アウトメディアの取組をきっかけに、各ご家庭でご協力いただいている結果だと考えます。

- ・進んで本を読む 児童62% 保護者28%

いざわCS協議会にて、今年度より協議を進めてまいりましたが、児童、保護者ともに評価が下がる結果となってしまいました。引き続き、図書室の活用も含め、家庭や地域との連携を進めながら改善を図る必要があると考えます。

教職員研修会やいざわCS協議会で出た意見を紹介します。

- ・あいさつは、環境がとても大切である。学校・家庭・地域が一体となって、あいさつできる子どもの育成に努めていく必要がある。
- ・子どもの意識として、「あいさつができています」と思っている評価が多いが、保護者の方や教職員からの評価は、例年に比べ下がっている。教職員も含め、あいさつを大切にしていきたい。
- ・本(活字)を読むことで、自分の考えていることを人に伝えるなど、自分を表現する力が育つ。
- ・子どもたちが、本をすぐ手に取ることができる環境づくり(学級文庫の充実・図書室の電子化等)に努めていく。
- ・タブレット端末が身近なものになったことやSNSの発達により、小さい子どもが見たり、触れたりする機会が多くなってきている。適切な使用方法や適度な利用について呼びかけていく必要がある。